

# Nippak - Shimbun

24 de Junho de 1927 N.529

Director Jack Miura

Tel. Cet. 6183 Caixa 375 São Paulo

# 日白新聞

サンパウロ市  
サンショーアキン街六七八三  
本紙定價一月廿五ミル  
發行所 郵局 三七五  
電話セントラル六八三

## 八五低資

### 震災手形

田付大使の置土産として最も振つたものの一に數へらるゝ八五低資は、分配上彼此批難すべく點もあつたが、兎も角も一厘も残さずカシ付けで仕舞ひ、來月第一回のプレスタノンを取立するものと思つて居る。取れたら明日と云はず直ぐにも國庫へ返納するのだと殊勝なことを云つてゐる、然るに其後いろいろと見せしめの爲め強制執行の一つや二つはやつてみなければどの肚が決つたやうに傳へられてゐる。然るに其後いろくと今頃不慣れな金貸業者のコツを學ぶなんて、よがげんなものであるが、金貸の代辨なら勢ひそこ迄行くのが順序であらう。

八五低資が取れるか取れぬかの参考になるのに丁度母國の震災手形と云ふものがある、地震で九潰れになつて動きがざる三千萬圓だけ返済しただけで、残る二億七千万圓はどうしてしまひ、此の先とされる見込がなく、行くことは公債にはしてあるが、サテ實際に之を化けて國民の負担にならうと云ふのである、八五低資は丁度これによく似てをり誠意のある者はいくちか返すかも知れないが誠意のない者は『貸し下サレた只管債務者の誠意の有無に俟た

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。





## 地租移讓具体案

近く調査會を組織

現内閣は在野黨時代からの中張である地租移讓を断行するため、いよいよ調査會を組織することに決したが原則論は止めにして、直ちに具体策を講究するため近く大藏省議を経て閣議に附し、その實現を期する方針である。

## 新政黨の政策

社会政策に力を入れる

立憲民政黨は十五日題旨書を發表し新政策を天下向て明かにしたが其主なるものは外交の國際的正義化、産業の調節、教育の刷新、満蒙に於ける特殊利益の擁護の爲には場合により最後の手段をも辭せぬこと、産業上消費者の利益を擁護し資本に對する不公平な優良兒童には補助金を給し詰込主義教育の弊害を去り當を得て規範により體力の訓練を計る筈である。

地方官大更迭  
選舉人干涉の決意屢々露る  
五月十七日發表された地方官の大更迭で留任知事は八名留任警  
察部長は一名に過ぎず、是れ明  
かに今秋の府縣會議員の改選に當つて現内閣が大干涉を加へんとする底意を屢然として示すものだと云ひ各新聞は痛烈に之を攻撃してゐる。

## 左遷に憤慨した兩知事

辭表を叩きつく

福岡縣から石川縣知事に左遷された大塚惟精氏と富山縣より島根縣に左遷された白上吉氏とは『陛下の官吏にとつて親分兒分はない、水野錬太郎の兒分とて死一等を減らるなど、は怪しからぬ』と憤慨して辭表を叩き

鐵道省では海外から春夏非常に

## 鐵道省の案内記

魚よし  
(コンダサムセス三三)

## Encarega-se

Projecto Hydra-Eletrico-Técnico; Medidas da Terra e Construções da plantas, Construções etc.  
公認技師 小林弘一郎  
製圖測量 水力計算計畫 土木  
Engenheiro K. Nakayashi  
Rua Humberto Prado C.C. 12  
São Paulo

M. Harada  
Engenheiro

公認技師 原田政平  
矢部洋服店  
矢部裁縫裁斷教授所  
建設等御用意に願じます

## Afaiate

三井住友兩社にて日本銀行  
織し興業銀行を通じて日本銀行  
より融通せしむる等にて多分三  
井は造船所を往來は飛行機製作  
工場を引受くる事なると

## 旅館潮

福岡縣から石川縣知事に左遷された大塚惟精氏と富山縣より島根縣に左遷された白上吉氏とは『陛下の官吏にとつて親分兒分はない、水野錬太郎の兒分とて死一等を減らるなど、は怪しからぬ』と憤慨して辭表を叩き

鐵道省では海外から春夏非常に

きつけたので島根縣知事には八

櫻燒客が多いとも拘らず全國の

本林作氏若川縣知事には横山助

名勝史蹟の総合的旅行案内記に

成氏が夫々任命された

さばしところから今後大に發

昭和五年を期して

政府は来る昭和五年度に第三回

國勢調査を極めて、目的に有本

の十二卷を組み全國の鐵道網

を中心して名勝史蹟、風俗傳

金子・金石・金石清作

を中心にした

調査材料及び参考資料蒐集のた

め最近英國に向て出發し尙政

府より在外大臣使にも同様の目

的で依頼したが此事業は自下問

ら見るも急務だといふので統計

局では達滿なき機具準備を進の

てある。

内地の人口六千方

昨年中だけで百万人

統計局發表によると昨年中の人口

日増加は百萬人以上であるが出

る。産は前年より減少せるも死亡者

激減し内地の人口は完全に六千

万以上となつた人口日々食料問題

解決案は實面の急務となり各方

面で研究の聲高く即ち昨年の出

産は二百十萬にして二萬九千の

一千の減少で衛生状態の完全

になれる。同時に生活難いよ

くほげしなりつてあるを統

計は明りに示してある。

川崎の事業繼承

三井住友兩社にて

川崎造船所の事業は有効なるシ

ンデクートで引繼ぎ差當り適當

の整理を行つた上具体案を提出

する。ここに政府も肚を極めたが

助ること

三井三菱ともシンジアートを組

織し興業銀行を通じて日本銀行

より融通せしむる等にて多分三

井は造船所を往來は飛行機製作

工場を引受くる事なると

すこ

そば

魚よし  
(コンダサムセス三三)

きつけたので島根縣知事には八

櫻燒客が多いとも拘らず全國の

本林作氏若川縣知事には横山助

名勝史蹟の総合的旅行案内記に

成氏が夫々任命された

さばしところから今後大に發

昭和五年を期して

政府は来る昭和五年度に第三回

國勢調査を極めて、目的に有本

の十二卷を組み全國の鐵道網

を中心して名勝史蹟、風俗傳

金子・金石・金石清作

を中心にした

調査材料及び参考資料蒐集のた

め最近英國に向て出發し尙政

府より在外大臣使にも同様の目

的で依頼したが此事業は自下問

ら見るも急務だといふので統計

局では達滿なき機具準備を進の

てある。

内地の人口六千方

昨年中だけで百万人

統計局發表によると昨年中の人口

日増加は百萬人以上であるが出

る。産は前年より減少せるも死亡者

激減し内地の人口は完全に六千

万以上となつた人口日々食料問題

解決案は實面の急務となり各方

面で研究の聲高く即ち昨年の出

産は二百十萬にして二萬九千の

一千の減少で衛生状態の完全

になれる。同時に生活難いよ

くほげしなりつてあるを統

計は明りに示してある。

川崎造船所職工

川崎造船所の職工中五百名は一

日の収入四圓以上の超額額を會

社の窮状を教はんとしてゐるが

馬場松吉、中川ミヤ、安川ト

上保一、吉田政之進、岸田佐一郎

那須一、川崎重太郎、本村清八

山口、山出、山岸久次、鶴谷

太郎、藤間金、小林梁申、藤井勝右

三郎、宇野平吉、和泉元好、齊藤嘉吉、田中智誠、山中好、杉田繁壽

山口、山出、山岸久次、鶴谷



